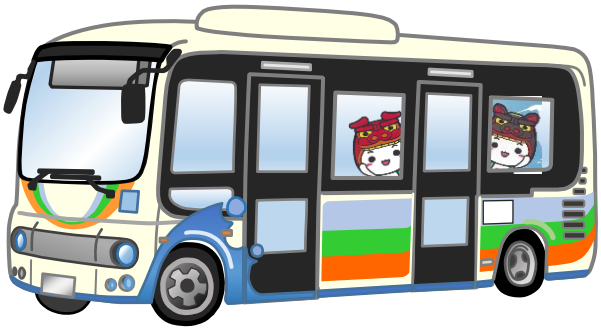
令和７年８月実施



市営乗合バス（るんるんバス）の利用に関する アンケート調査　結果報告書

【 目次 】

1　調査概要 …… 1

2　質問項目 …… 1

3　調査結果の概要 …… 2

4　回答結果 …… 4

付録　（13）るんるんバスの改善点　自由回答　原文 …… 23

付録　アンケート調査票 …… 26

令和８年２月

酒田市企画部都市デザイン課

1　調査概要

（1）調査の目的

本市では、令和３年度から令和７年度までの５年間を計画期間とする「酒田市地域公共交通計画」を策定しており、令和７年 12 月３日に開催された酒田市地域公共交通会議において、計画期間を１年間延長し、令和８年度までとしたところです。

本アンケート調査は、令和９～13 年度を計画期間とする新たな「酒田市地域公共交通計画」を策定するにあたり、市営乗合バス（るんるんバス）の利用状況と利用者の声を把握するとともに、クロスセクターベネフィット（※）算定の参考とすることを目的に実施しました。

※クロスセクターベネフィット　…　地域公共交通を廃止したときに追加的に必要となる医療、福祉、教育、環境などの多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出を比較することにより把握できる「地域公共交通の多面的な効果」

（2）調査対象と調査方法

Web アンケートを主とし、るんるんバス車内及び主要公共施設（※）に回答フォームの二次元コードが記載されたチラシを掲出し、乗客や施設利用者に対し任意での回答を求めました。また、市公式サイトにも記事を掲載し、回答フォームへの誘導を図ったほか、パソコンやスマートフォンをお持ちでない方や操作が苦手な方向けに、アンケート調査用紙をるんるんバス車内や主要公共施設に設置し、書面での回答も受け付けました。

※主要公共施設　…　酒田市役所、総合文化センター、ミライニ観光案内所、各総合支所庁舎

（3）調査の期間

令和７年８月１日（金）から 同年８月 25 日（月）まで

（4）回収件数

217 件（オンライン 194 件、書面 23 件）

2　質問項目

（1）年代

（2）職業・学校

（3）住まい

（4）運転免許について

（5）バスの利用頻度

（6）普段の主な通学手段【高校生のみ回答】

（7）最も利用することが多いバス路線

（8）乗車時の利用目的

（9）乗車時の同行者（うち未就学児）

（10）主に利用する曜日と乗車時の時間帯

（11）主に利用するバス停

（12）るんるんバスが無かった場合の目的地への移動手段

（13）必要な改善点

3　調査結果の概要

（1）回答者の傾向　【 質問項目（1）～（4）】

➢ 今回はWebアンケートを中心に実施したこともあり、40～60代からの回答が計62.3%と半数以上を占めた。また、書面回答は23件のうち19件（82.6%）が60代以上だった。

➢ 「会社員・公務員」の回答が94件（43.3%）と最も多く、小学生～大学生は計28件（12.8%）であった。

➢ 酒田市内在住者からの回答が201件（92.6%）と大勢を占めた。

➢ 回答者の55.3%が「日頃、クルマやバイクを運転する」と回答し、返納済みも含めて「運転免許証を所有していない」と回答したのは32.7%だった。

（2）るんるんバスの利用について　【 質問項目（5）～（12)】

➢ るんるんバスを「毎週のように利用している」方は全体の29.5%であった。また「今は利用していない」方は全体の41.9%で、うち40代以上が約85%であった。

➢ 運転免許の状況と利用頻度の関係性では、「日頃、クルマやバイクを運転する」と回答した方の69.2%が、「今は利用していない」と回答した。また、「運転免許を持っていない」方の52.1%は、「毎週のように利用している」と回答した。運転免許の有無が、バスの利用頻度に明確に影響している。

➢ 路線別の利用者数では、「酒田駅大学線」と回答した方が、22.6%と最も高かった。また、「毎週のように利用している」と回答した方のうち、「市内循環Ａ線」は60代以上が50%であるが、「酒田駅大学線」は10代と20代で約40%、30代～60代で約40%となっている。

➢ 乗車時の利用目的で回答割合が10%を超えたものは、割合の高い順に「買物」「通院」「娯楽、趣味、文化活動等」「通勤」であった。各路線の傾向は次のとおり。

①市内循環Ａ線（毎日運行）　回答数：60件
　全体的には「通院」が最も多く、うち60代が7件と突出している。若干であるが「観光」での利用もあった。

②市内循環Ｂ線（毎日運行）　回答数：45件
　40代の回答が18件と最も多く、うち「通勤」が4件。全体的には「買物」と「通院」の割合が多い。

③市内循環Ｃ線（平日運行）　回答数：21件
　全体的には「買物」「通院」「食事・社交」が多い。10～30代の回答はなく、「通学」や「習い事・学習」はなかった。

④市内循環Ｄ線（平日運行）　回答数：4件
　他路線に比べ回答が少ない。「通勤」「買物」が主であるほか、「観光」が1件あった。

⑤酒田駅大学線（毎日運行）　回答数：113件
　10代・20代の若年層を中心に、「買物」「娯楽、趣味、文化活動等」「通学」の割合が多い。他路線に比べて「通院」の割合が少なく、「観光」での利用が見られる。また、工業団地が運行ルートに入っていることもあり、「通勤」でも利用されている。

⑥古湊アイアイひらた線（月・水・金運行）　回答数：14 件
　温浴施設のアイアイひらたへ行く路線のため、「娯楽、趣味、文化活動等」が 7 件と最も多かった。

➢　目的地で、回答件数が 10 件を超えたのは、多い順に「日本海総合病院」「酒田駅」「イオン酒田南店」であった。

➢　主に利用する曜日では、「金曜日」が最も多く、「日曜日」が最も少なかった。「市内循環Ｃ線」「市内循環Ｄ線」「古湊アイアイひらた線」は土曜日・日曜日に運行しないためである。

➢　乗車時の時間帯は「7:00」「8:00」「16:00」が比較的多く「8:00」が最も多かった。逆に比較的回答が少なかった時間帯は「11:00」「12:00」「15:00」「19:00」である。

（3）るんるんバスに必要な改善点　【 質問項目（13)】

➢　改善項目として「運行経路」と「運行時間」がそれぞれ約 120 件ずつあり、他の項目と比較して群を抜いて多かった。特に「酒田駅大学線」は、回答数に比例し意見数が相対的に多く、中でも「運行時間」が 37 件と特に多い。一方、「運賃」は 21 件と比較的少なかった。

➢　自由回答をＡＩによる集計・分析したところ、「バスの本数や運行時間、ダイヤに関する要望や不満」に対する意見が最も多く、その中では「乗り継ぎや目的地到着に合わせたダイヤ調整の要望」が 11 件あった。

➢　自由回答を世代別に分析してみると、世代ごとに異なるニーズがあることが伺える。若年層（10 代・20 代）では「混雑への不満・不安」やバスが時間通りに来ないことなど「時間の正確性」に対する意見が多い。また、40 代以下では「キャッシュレス導入」に対する要望も多い。壮年層（50 代・60 代）になると「運転手への不満」や、特に市内循環Ｃ・Ｄ線で使用しているワゴン車タイプへの不評が目立ち「車両の改善」を求める声が多い。高齢者層（70 代以上）では、「冬の雪かき」や「バス停のベンチ・囲い」などの「バスを待つ環境の整備」に対する不満があるほか、「生活の足」であるバスが希望の時間や土日に動かないことで、外出機会の損失に繋がっている可能性がある。

（4）まとめ

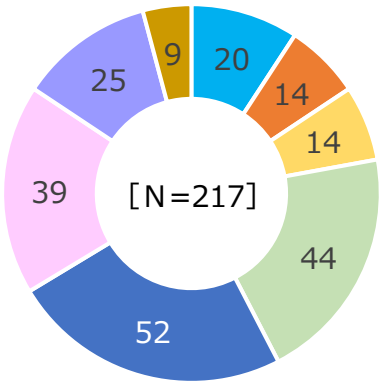
➢　今回は Web アンケートを中心に実施したため、サンプル数が限られ、回答者が比較的若い年代に偏っている。このため、利用者全体の総意とは言い難い面もあるが、特に運転免許を持たない方にとっては、現状に不便さを感じつつも、買物や通院などの「生活の足」として頼らざるを得ない状況が見て取れる。

➢　「運行経路」と「運行時間」に対する改善要望が突出していることから、移動ニーズに即した効率的な運行ルートやダイヤへの再編を行い、利便性の向上と定時性・速達性の確保に努め、信頼される公共交通を目指す必要がある。また、特定の曜日や時間帯における「交通空白」を解消し、外出機会を創出することは、地域経済の活性化や健康寿命の延伸に寄与するものと考えらえる。あわせて、回答者の半数を占めた自動車運転層に対しても「公共交通はスムーズで快適ある」と思わせる選択肢を提示することも重要である。

➢　デジタルネイティブ世代の増加を見据え、キャッシュレス決裁の導入やデジタル技術を活用した情報発信にも注力する必要がある。同時に、高齢者層の不満やストレスを解消するため、車両の改善やバス停の除雪、待合環境の整備などにも取り組み、「乗り渋り」の原因を丁寧に取り除いていくことが求められている。

4　回答結果

（1）回答者の年代

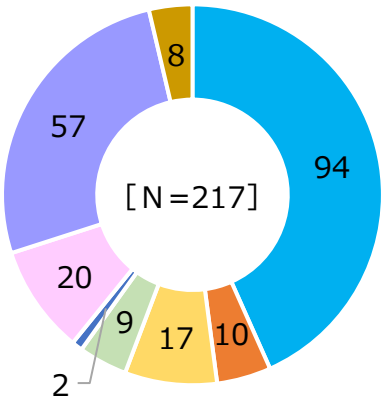


10代	9.2%
20代	6.5%
30代	6.5%
40代	20.3%
50代	24.0%
60代	18.0%
70代	11.5%
80代以上	4.1%

➢ Web アンケートが主だったこともあり、40～60 代の回答が計 62.3%と半数以上を占めた。

➢ なお、書面回答の 82.6%は 60 代以上だった。

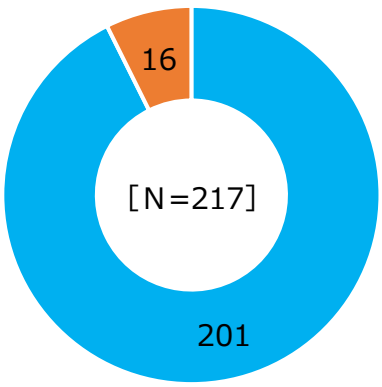
（2）職業・学校



会社員･公務員	43.3%
自営業･農業	4.6%
大学･短大･専門学生	7.8%
高校生	4.1%
小学生･中学生	0.9%
パート･アルバイト	9.2%
無職（主婦など）	26.3%
その他	3.7%

➢ 「会社員・公務員」の回答が 43.3%と最も多く、小学生～大学生は計 12.8%である。

（3）住まい

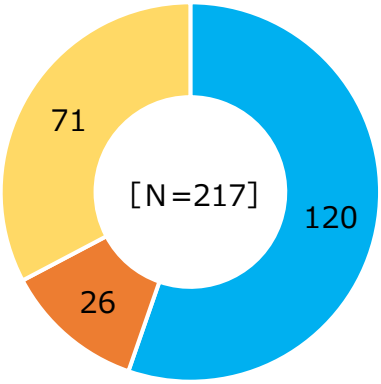


酒田市内	92.6%
酒田市外	7.4%

➢ 酒田市内在住者からの回答がほとんどだった。

➢ 酒田市外の方の利用目的は、主に「通院」「買物」「出張」「観光」「娯楽・趣味・文化活動」である。

（4）運転免許について

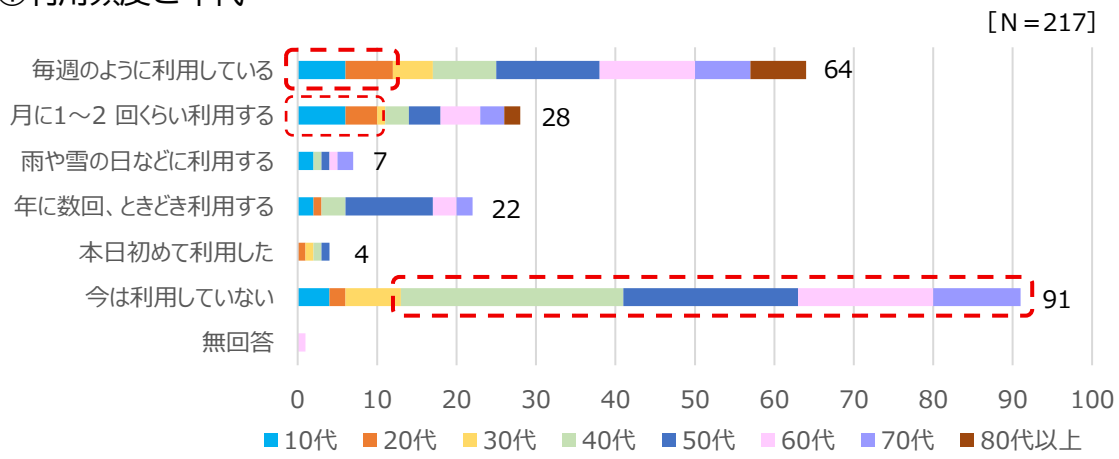


■ 日頃、クルマやバイクを運転する　55.3%
■ 免許はあるが運転に自信がない　12.0%
■ 運転免許を持っていない（返納済みを含む）　32.7%

➢ 回答者の半分以上は「日頃、クルマやバイクを運転する」と回答した。

（5）バスの利用頻度

①利用頻度と年代

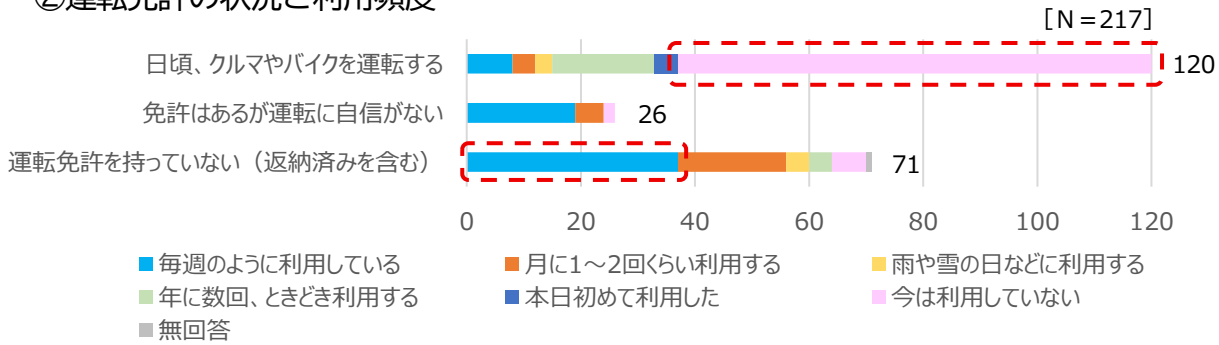


➢ 「毎週のように利用している」方は全体の 29.5%だった。

➢ 10 代と 20 代の回答者計 34 人中「毎週のように利用している」と回答した方は計 12 人。「月 1～2 回」の計 10 人と合わせ、若年層ではバスの利用頻度が高い人の割合が比較的多い。

➢ 「今は利用していない」と回答した方は全体の 41.9%で、回答者 91 人の 85.7%が 40 代以上だった。

②運転免許の状況と利用頻度



➢ 「日頃、クルマやバイクを運転する」方の 69.2%が「今は利用していない」と回答した。

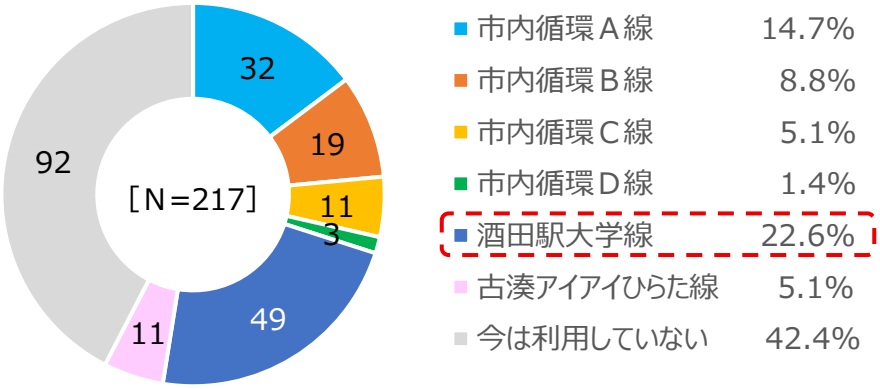
➢ 「運転免許を持っていない」方の 52.1%は、「毎週のように利用している」と回答した。

（6）普段の主な通学手段【高校生のみ回答】

回答は１件のみで、晴天・曇天時は「バスやデマンドタクシー」、荒天時・夜間は「徒歩または自転車のみ」だった。

（7）最も利用することが多いバス路線

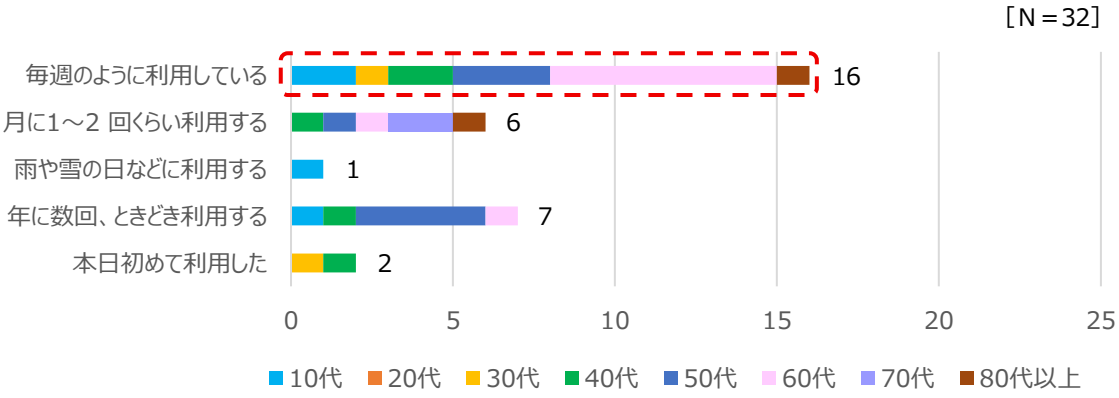
①路線別の利用者数



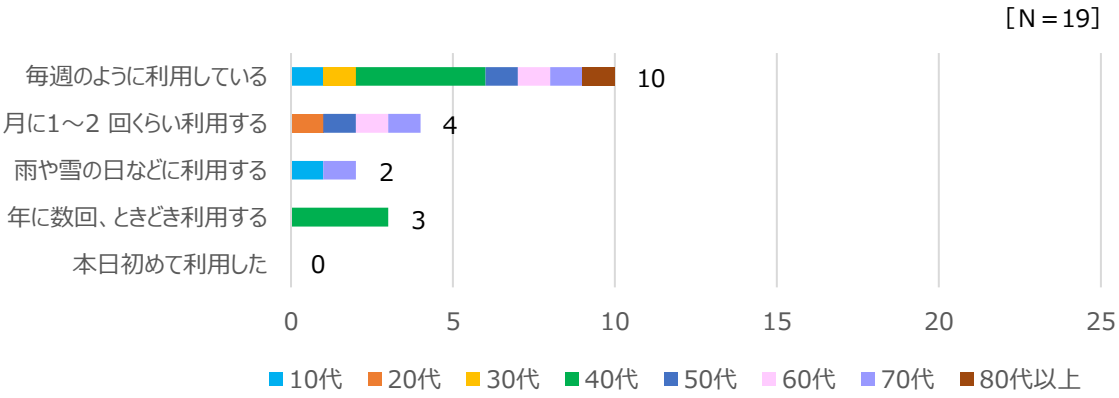
➢ 「酒田駅大学線」と回答した方が、22.6%と最も高かった。

②路線別　年代別　※（5）の利用頻度で「今は利用していない」「無回答」を除く

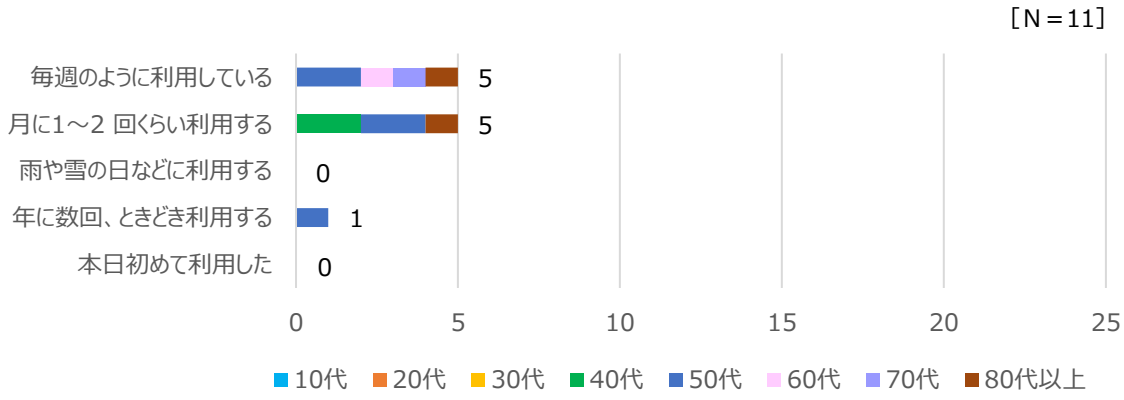
◆市内循環Ａ線（毎日運行）



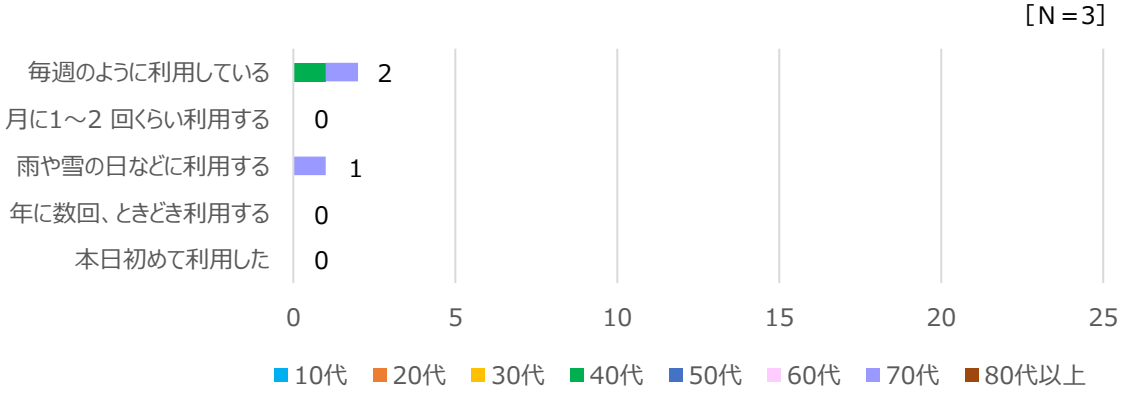
◆市内循環Ｂ線（毎日運行）



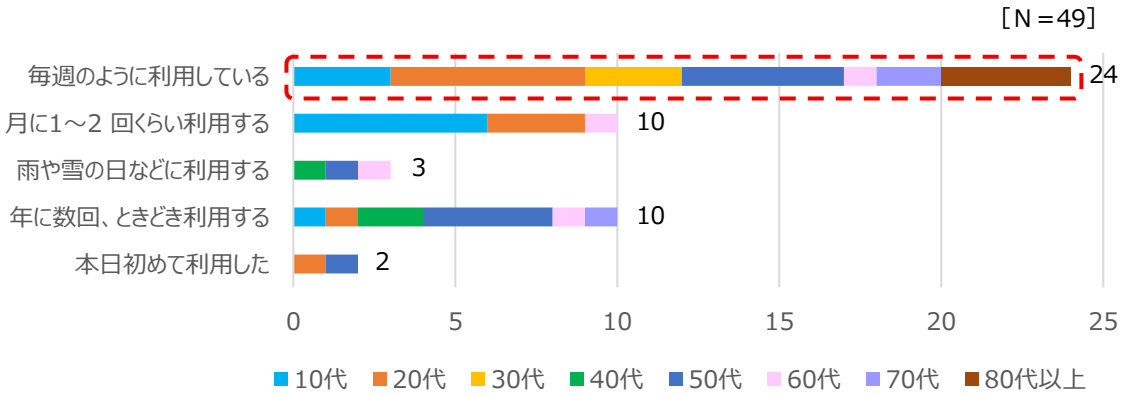
◆市内循環C線（平日運行）



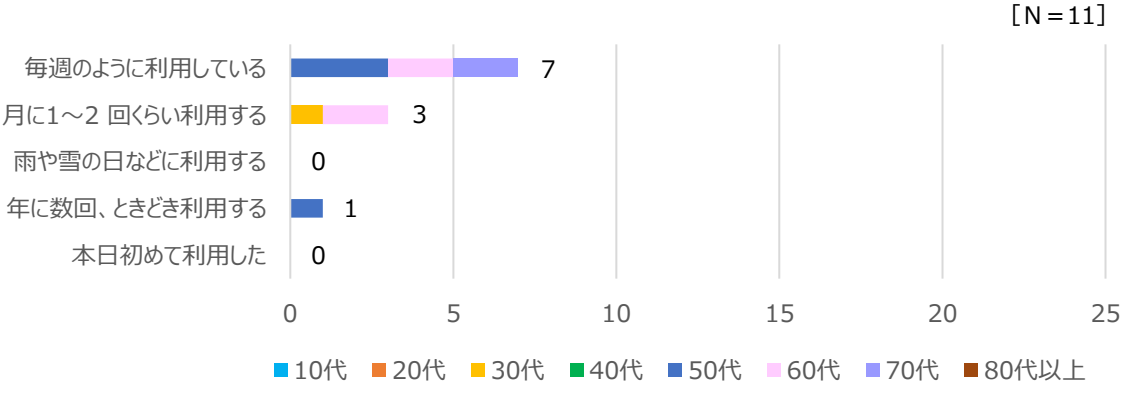
◆市内循環D線（平日運行）



◆酒田駅大学線（毎日運行）



◆古湊アイアイひらた線（月・水・金運行）

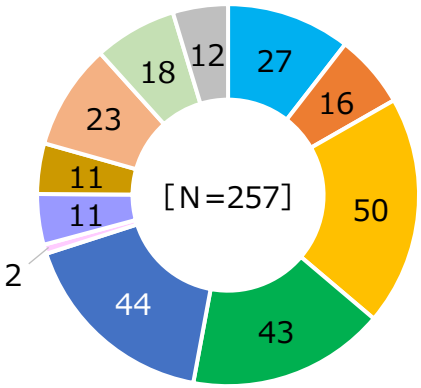


➢ どの路線も「毎週のように利用している」と回答した方が比較的多い。

➢ 「毎週のように利用している」のは「市内循環Ａ線」では 60 代以上の方が 50%であるが、「酒田駅大学線」は 10 代と 20 代で約 40%、30 代～60 代で約 40%となっている。

（８）乗車時の利用目的（複数回答可）　※回答件数　125 件

①利用目的



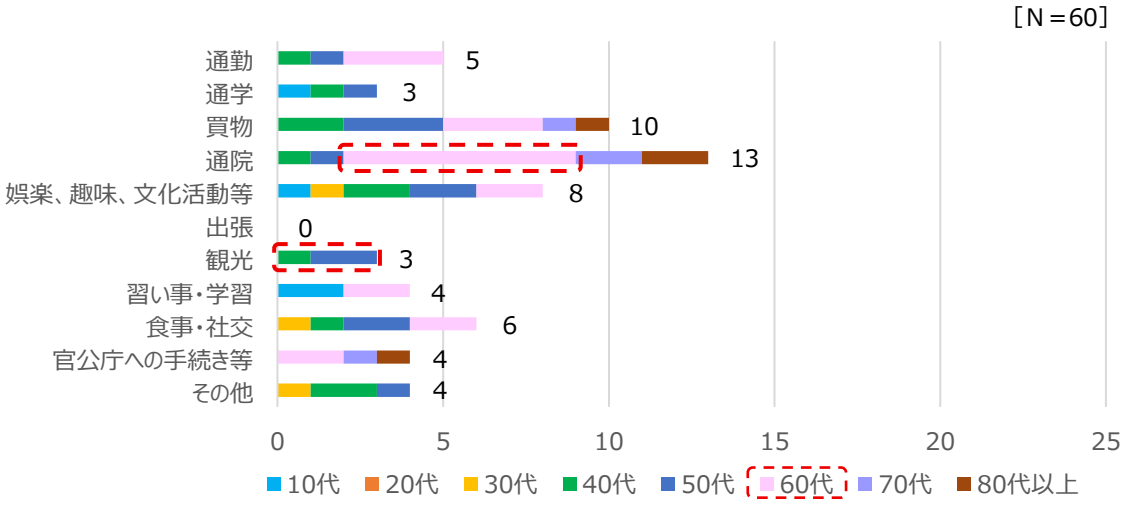
通勤	10.5%
通学	6.2%
買物	19.5%
通院	16.7%
娯楽、趣味、文化活動等	17.1%
出張	0.8%
観光	4.3%
習い事・学習	4.3%
食事・社交	8.9%
官公庁への手続き等	7.0%
その他	4.7%

➢ 10%を超えたものは、割合の高い順に「買物」「通院」「娯楽、趣味、文化活動等」「通勤」である。

➢ 「その他」については、「帰省」と「墓参り」が複数あったほか、「子どもの送迎」や「アクティビティ（子どもに乗り降りや乗車のルールも学ばせながら一緒に乗る）」旨の回答もあった。

②路線別の利用目的と利用年代

◆市内循環Ａ線（毎日運行）

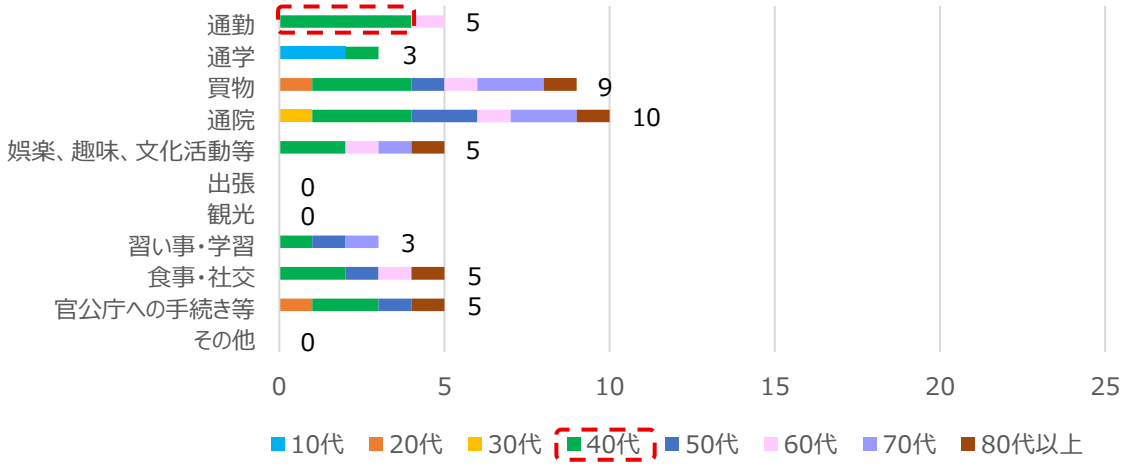


➢ 「通院」が最も多く、60 代が 7 件と突出している。

➢ 若干であるが「観光」での利用もある。

◆市内循環Ｂ線（毎日運行）

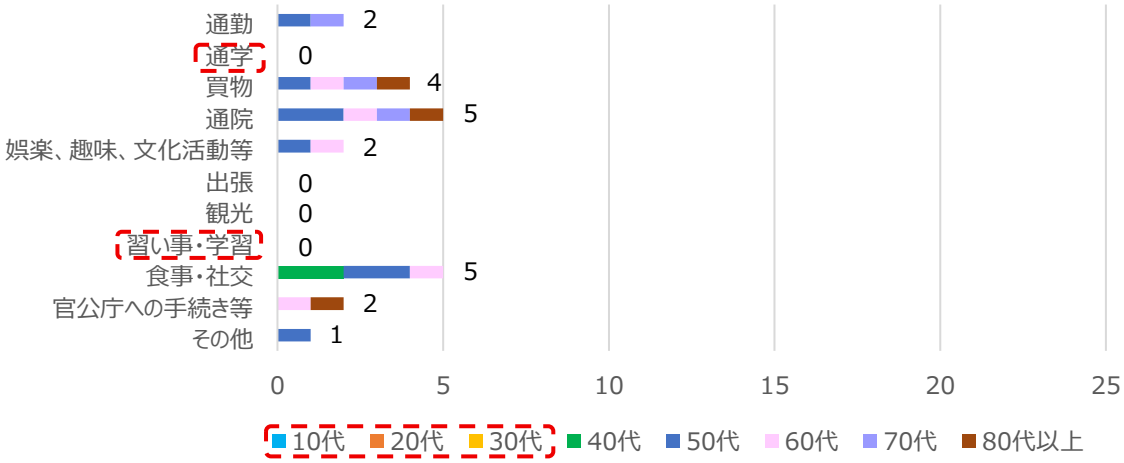
［N＝45］



➢ 40 代の回答が 18 件と最も多く、うち「通勤」が 4 件。全体的には「買物」と「通院」の割合が多い。

◆市内循環Ｃ線（平日運行）

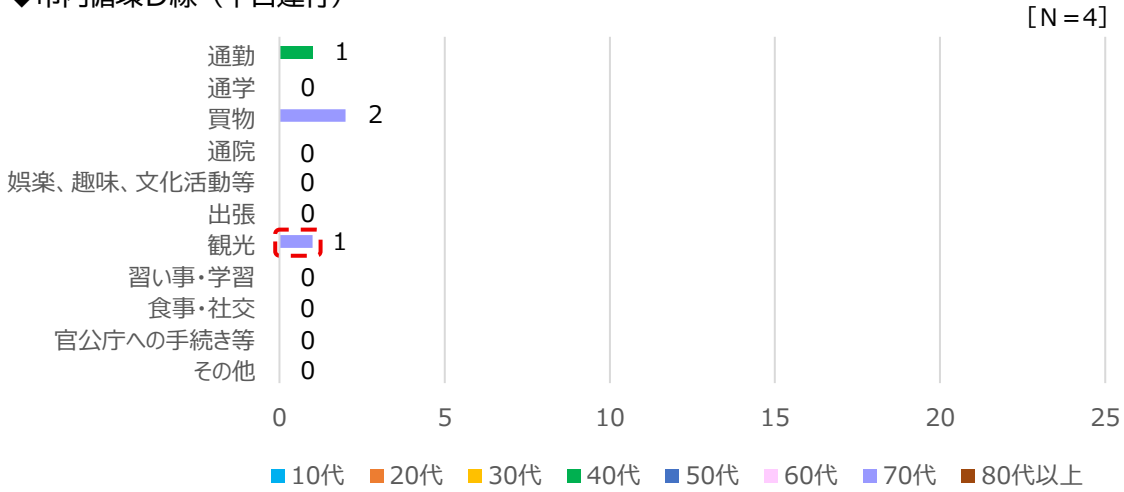
［N＝21］



➢ 10～30 代の回答がなく、「通学」や「習い事・学習」はなかった。

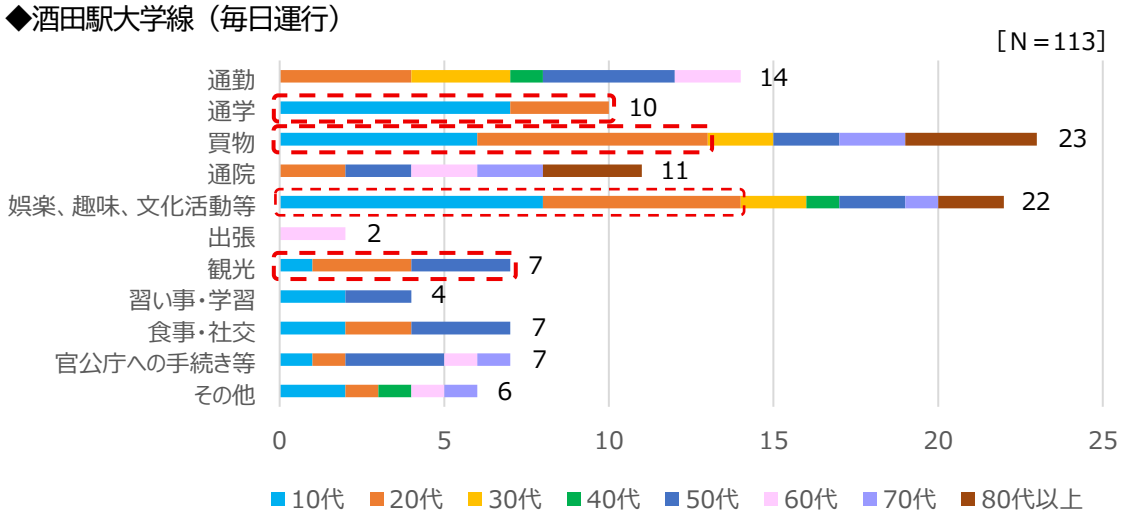
◆市内循環Ｄ線（平日運行）

［N＝4］



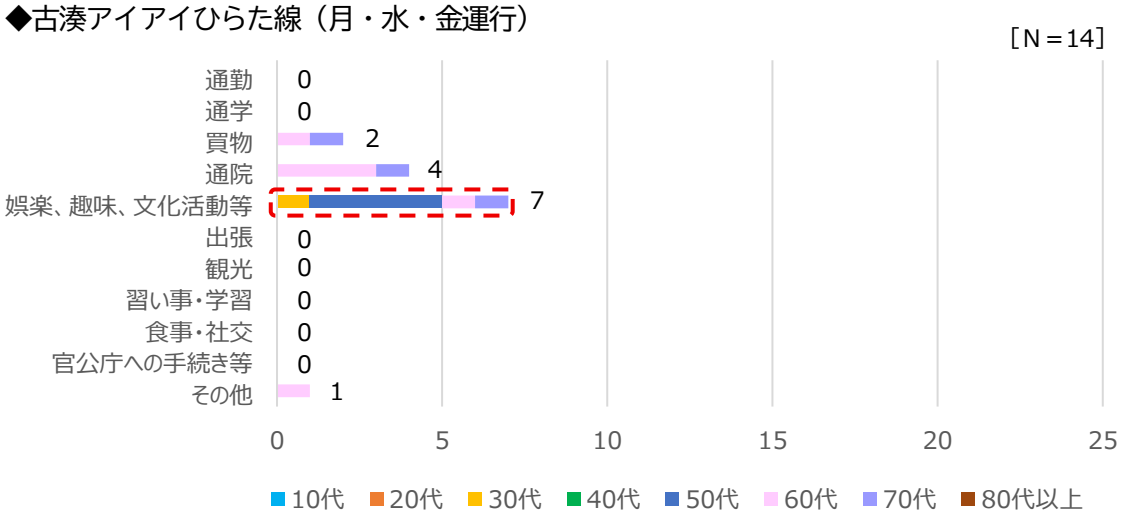
➢ 他路線に比べ回答が少ないが、「観光」が 1 件あった。

◆酒田駅大学線（毎日運行）



- 10 代・20 代の若年層を中心に、「買物」「娯楽、趣味、文化活動等」「通学」の割合が多い。
- 他路線に比べ「通院」の割合が少なく、「観光」が多いのが特徴。
- 工業団地が運行ルートに入っていることもあり、「通勤」目的でも利用されている。

◆古湊アイアイひらた線（月・水・金運行）



- 温浴施設のアイアイひらたへ行く路線のため、「娯楽、趣味、文化活動等」が多いのが特徴。

③目的地（施設名などを自由回答・複数回答可）　※回答件数 75 件

医療機関	かめがさき整形外科	1	商業施設	イオンタウン	1
	山容病院	1		イオン酒田南店	12
	しょうない眼科	1		いろは蔵パーク	5
	高木整形	1		こぴあコープ酒田店	1
	日本海総合病院	17		トー屋	1
	ほんまクリニック	1		トー屋高見台店	1
	本間病院	3		中町（中町商店街）	9
学校	東北公益文科大学	3		ヤマザワ	2
	産業技術短期大学校庄内校	1		ヤマザワ山居町店	2
	酒田東高校	1	企業等	勤務先	1
	酒田西高校	2		東北エプソンスワン	1
	高校	1	観光施設	アイアイひらた	5
	酒田第四中学校	1		小幡楼	1
体育・文化施設	親子スポーツ会館	1		海向寺	1
	市営プール	2		山居倉庫	2
	酒田市美術館	2		若葉旅館	1
	総合文化センター	2	墓地	高砂墓地	1
	ミライ二	8		市民霊園	1
その他公共施設	泉コミセン	1	計		117
	市役所	6			
	酒田駅	13			

➢ 最も回答が多かったのは「日本海総合病院」、次いで「酒田駅」「イオン酒田南店」であった。

（9）乗車時の同行者（うち未就学児）　※回答件数 29 件

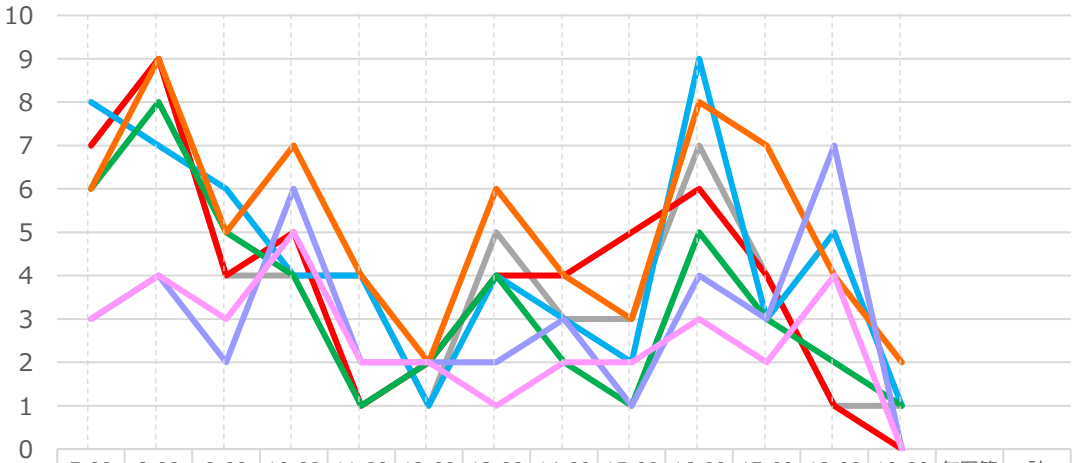
同行者		うち未就学児	
人数	回答数	人数	回答数
1 人	18 件	1 人	3 件
		2 人	1 件
2 人	9 件	1 人	3 件
		2 人	2 件
4 人	1 件	-	-
5 人	1 件	-	-

➢ 未就学児を連れての乗車は計 9 件で、全体の 4.1%である。

➢ 「同行者 1 人、うち未就学児 2 人」は回答ミスと思われる。

➢ 「同行者 5 人」は同じ企業への通勤である。

（10）主に利用する曜日と乗車時の時間帯（複数回答可）　※回答件数 122 件



	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	無回答	計
月曜日	7	9	4	4	4	1	5	3	3	7	4	1	1	0	53
火曜日	7	9	4	5	1	2	4	4	5	6	4	1	0	3	55
水曜日	8	7	6	4	4	1	4	3	2	9	3	5	1	1	58
木曜日	6	8	5	4	1	2	4	2	1	5	3	2	1	2	46
金曜日	6	9	5	7	4	2	6	4	3	8	7	4	2	2	69
土曜日	3	4	2	6	2	2	2	3	1	4	3	7	0	1	40
日曜日	3	4	3	5	2	2	1	2	2	3	2	4	0	1	34
計	40	50	29	35	18	12	26	21	17	42	26	24	5	10	355

➢　最も乗車する曜日は「金曜日」で、最も少ないのは「日曜日」である。「市内循環Ｃ線」「市内循環Ｄ線」「古湊アイアイひらた線」は土曜日・日曜日に運行しないためである。平日も「木曜日」が比較的少ないのは、「古湊アイアイひらた線」の運行が月曜日・水曜日・金曜日であることも影響している。

➢　乗車時の時間帯では「7:00」「8:00」「16:00」が比較的多い。逆に比較的回答が少なかった時間帯は「11:00」「12:00」「15:00」「19:00」である。

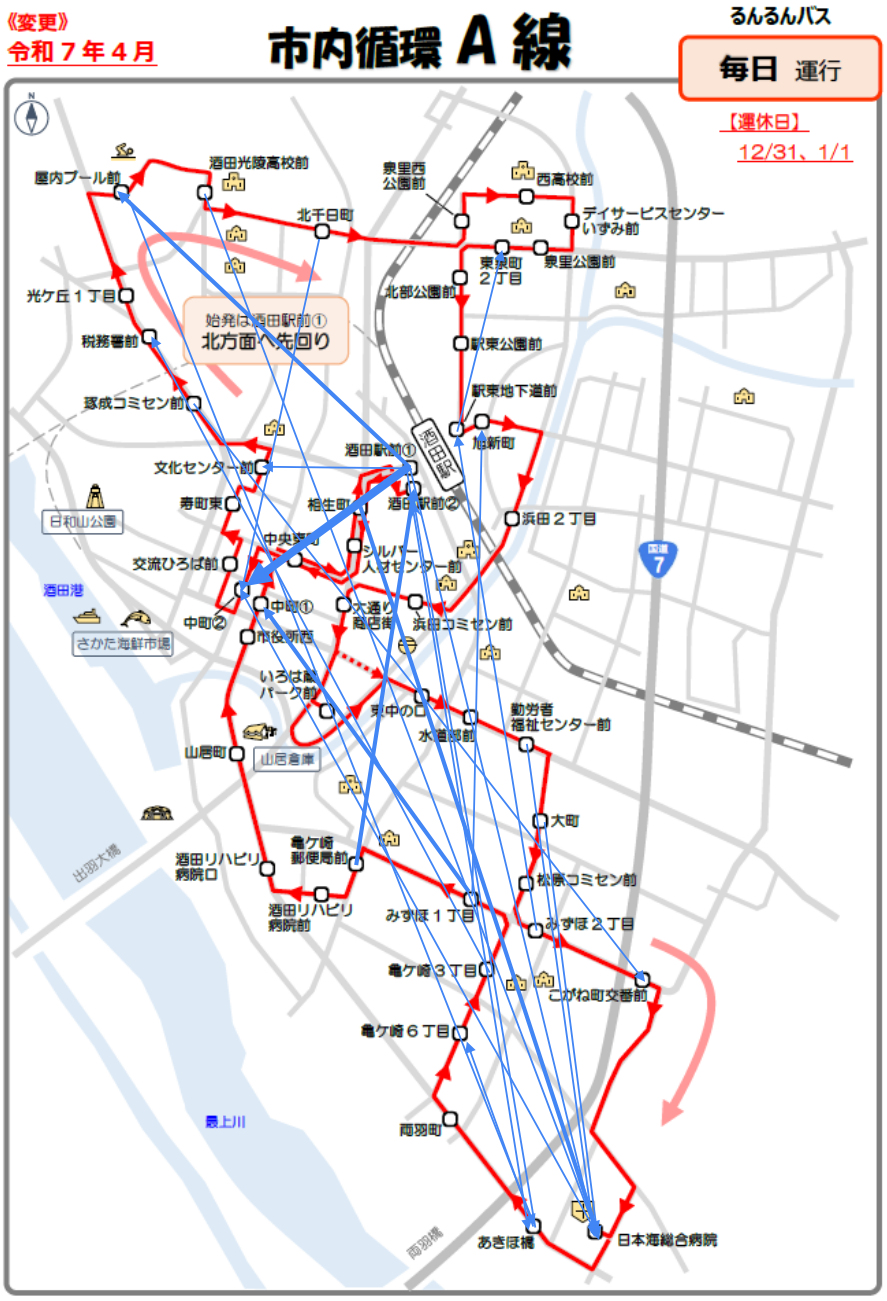
【参考】主に利用する路線と曜日

	主に利用する路線 回答件数	主に利用する曜日							計	曜日の記載なし
		月	火	水	木	金	土	日		
市内循環Ａ線（毎日運行）	32	14	16	12	11	16	9	5	83	2
市内循環Ｂ線（毎日運行）	19	8	10	10	9	10	6	6	59	1
市内循環Ｃ線（平日運行）	11	3	5	2	4	7	1	1	23	1
市内循環Ｄ線（平日運行）	3	0	2	1	2	2	1	1	9	0
酒田駅大学線（毎日運行）	49	22	22	24	20	26	22	20	156	2
古湊アイアイひらた線（月･水･金運行）	11	6	0	9	0	8	1	1	25	0
計	125	53	55	58	46	69	40	34	355	6

➢　検体数が少ないため、明確な傾向は出なかったが、「市内循環Ａ線」「市内循環Ｂ線」は、土曜日・日曜日に通院需要が減るため平日の利用が多かった。対して「酒田駅大学線」は曜日に限らずコンスタントに利用されている。

➢　「市内循環Ｃ線」と「市内循環Ｄ線」、「古湊アイアイひらた線」の土曜日・日曜日は運行していないため、回答があったものは誤記と思われる。

（11）主に利用するバス停（乗車時/降車時）



1件
2件
3件

乗車したバス停を起点とし降車したバス停までを矢印で表した。
太い矢印は、同じ起点・終点の件数を示している。

乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
あきほ橋	⇒	酒田駅前②	1
あきほ橋	⇒	亀ケ崎６丁目	1
みずほ１丁目	⇒	旭新町	1
みずほ１丁目	⇒	中町①	2
みずほ２丁目	⇒	駅東地下道前	1
駅東地下道前	⇒	東泉町２丁目	1
屋内プール前	⇒	あきほ橋	1
亀ケ崎３丁目	⇒	税務署前	1
亀ケ崎郵便局前	⇒	酒田駅前②	2
勤労者福祉センター	⇒	日本海病院	1
酒田駅前①	⇒	酒田駅前②	1
酒田駅前①	⇒	中町②	3
酒田駅前①	⇒	屋内プール前	2
酒田駅前①	⇒	あきほ橋	1
酒田駅前①	⇒	日本海総合病院	1
酒田駅前①	⇒	文化センター前	1
酒田光陵高校前	⇒	日本海総合病院	1

乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
相生町	⇒	日本海総合病院	2
大町	⇒	日本海総合病院	1
琢成コミセン前	⇒	こがね町交番前	1
日本海総合病院	⇒	中町②	1
浜田２丁目	⇒	山居町	1
北千日町	⇒	中町②	1
	計		29

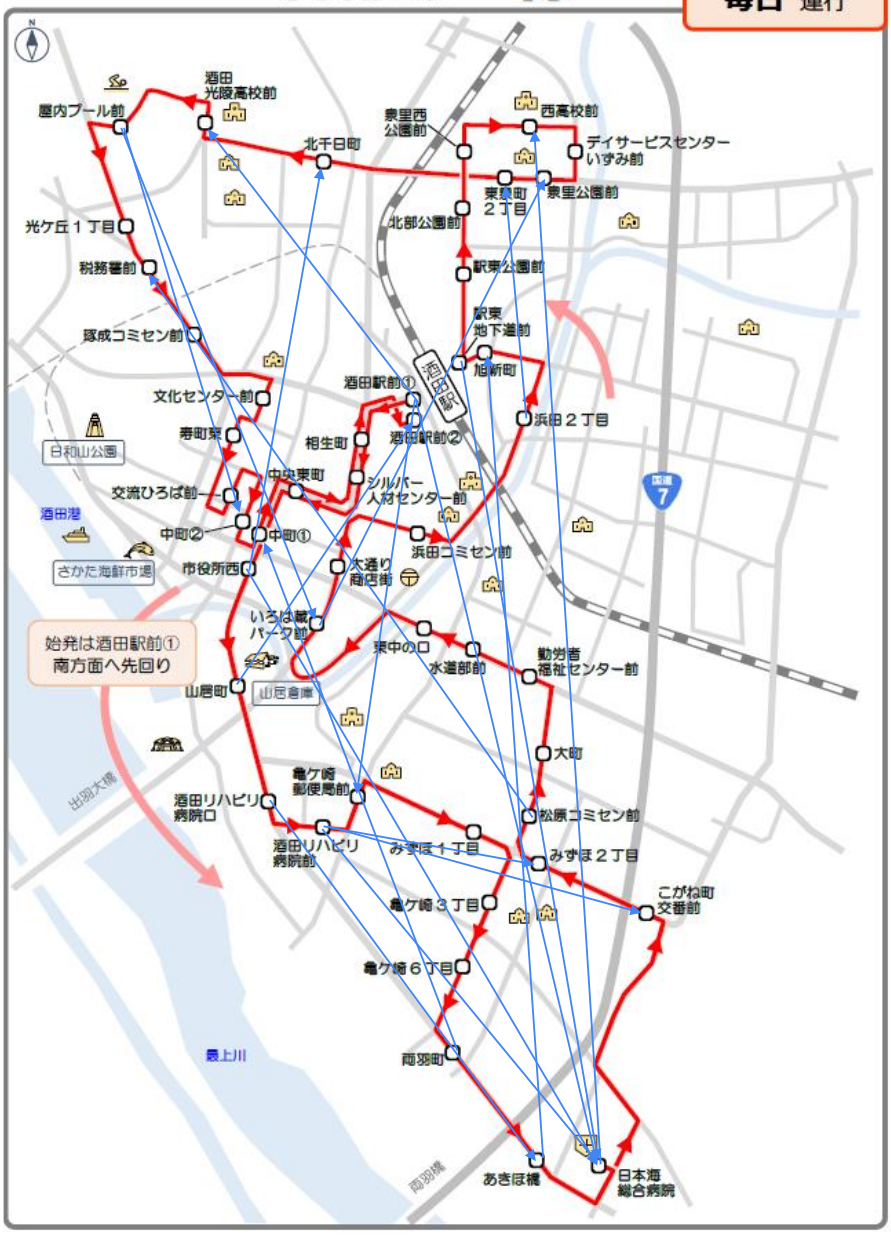
➢ 酒田駅を中心に、どちらかといえば南側での移動が多く、線路の東側からの移動は少ない。

《変更》
令和７年４月

市内循環Ｂ線

るんるんバス

毎日 運行



1件
2件
3件

乗車したバス停を起点とし降車したバス停までを矢印で表した。
太い矢印は、同じ起点・終点の件数を示している。

乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
あきほ橋	⇒	旭新町	1
いろは蔵パーク前	⇒	泉里公園前	1
駅東地下道前	⇒	日本海総合病院	1
屋内プール前	⇒	いろは蔵パーク前	1
屋内プール前	⇒	中町②	1
山居町	⇒	酒田駅前②	1
市役所西	⇒	日本海総合病院	1
市役所西	⇒	北千日町	1
酒田リハビリ病院口	⇒	あきほ橋	1
酒田リハビリ病院前	⇒	こがね町交番前	1
酒田リハビリ病院前	⇒	みずほ２丁目	1
酒田リハビリ病院前	⇒	日本海総合病院	1

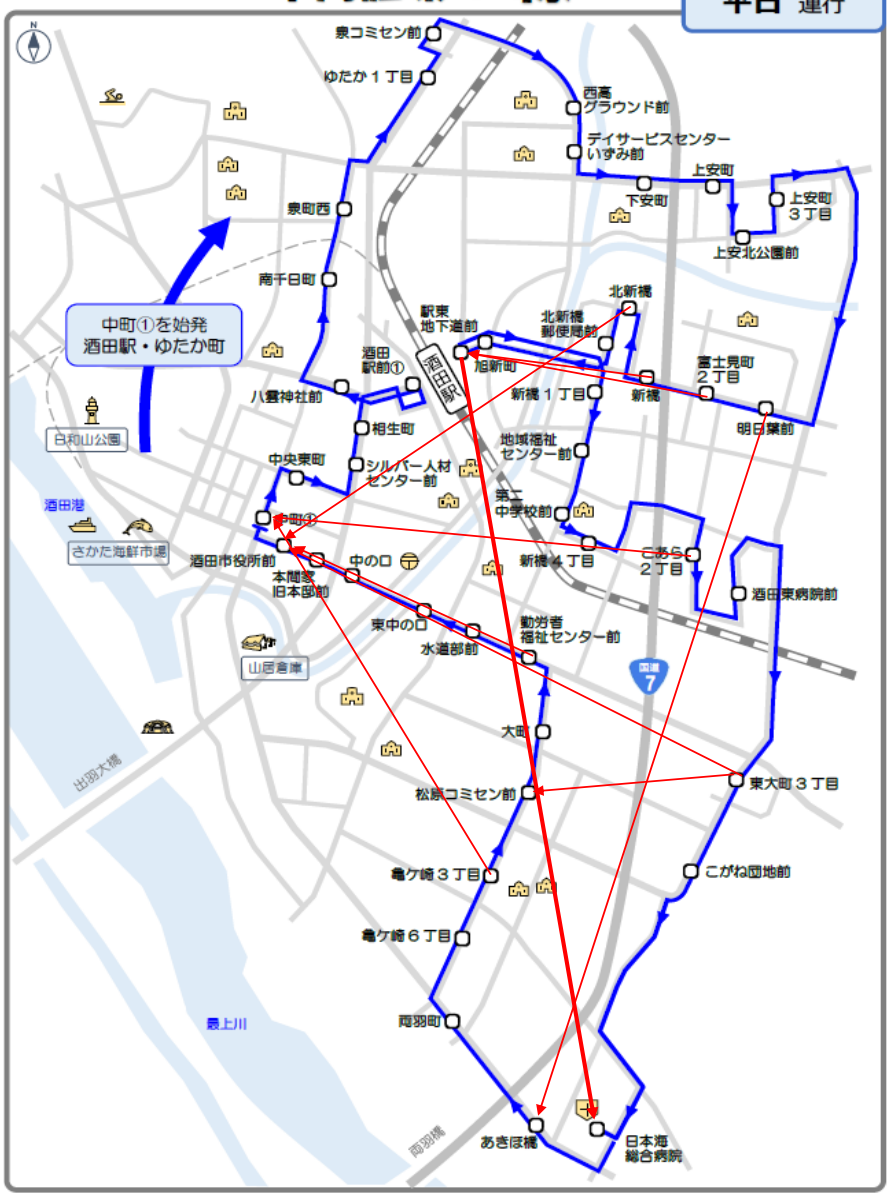
乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
酒田駅前①	⇒	亀ケ崎郵便局前	1
酒田駅前①	⇒	酒田光陵高校前	1
酒田駅前①	⇒	日本海総合病院	1
松原コミセン前	⇒	税務署前	1
日本海総合病院	⇒	西高校前	1
浜田２丁目	⇒	東泉町２丁目	1
両羽町	⇒	中町①	1
	計		19

➢ 市内循環Ａ線と比べ、南側から高校へ向かう矢印が見られる。

《変更》
令和７年４月

市内循環 C 線

るんるんバス
平日 運行



1件
2件
3件

乗車したバス停を起点とし降車したバス停までを矢印で表した。
太い矢印は、同じ起点・終点の件数を示している。

乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
こあら２丁目	⇒	中町①	1
駅東地下道前	⇒	日本海総合病院	2
亀ケ崎３丁目	⇒	中町①	1
勤労者福祉センター	⇒	酒田市役所前	1
新橋	⇒	駅東地下道前	1
東大町３丁目	⇒	酒田市役所前	1
東大町３丁目	⇒	松原コミセン前	1
富士見町２丁目	⇒	駅東地下道前	1
北新橋	⇒	酒田市役所前	1
明日葉前	⇒	あきほ橋	1
計			11

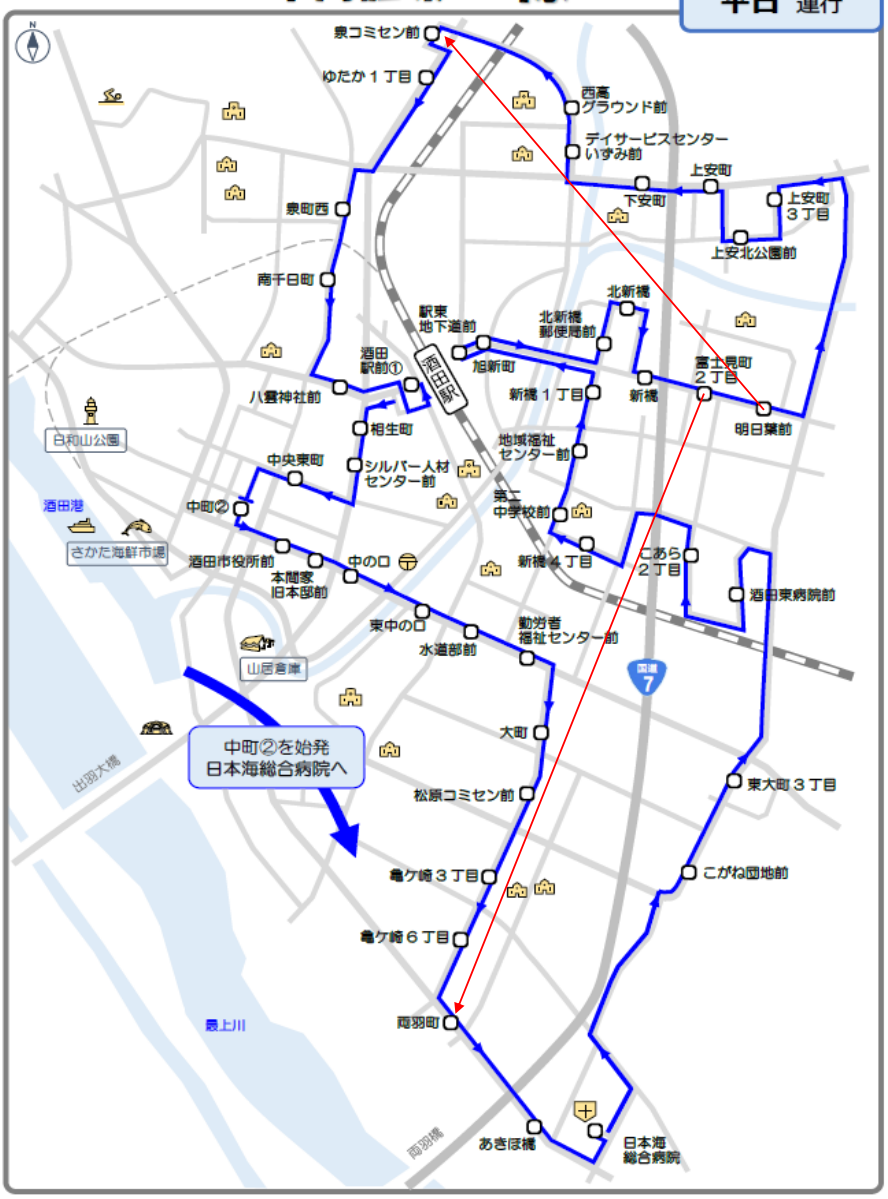
➢ 酒田駅の東側から、日本海総合病院やあきほ橋、酒田市役所や中町といった、線路を跨ぐ移動が見られる。

《変更》
令和７年４月

市内循環 D 線

るんるんバス

平日 運行



1件
2件
3件

乗車したバス停を起点とし降車したバス停までを矢印で表した。
太い矢印は、同じ起点・終点の件数を示している。

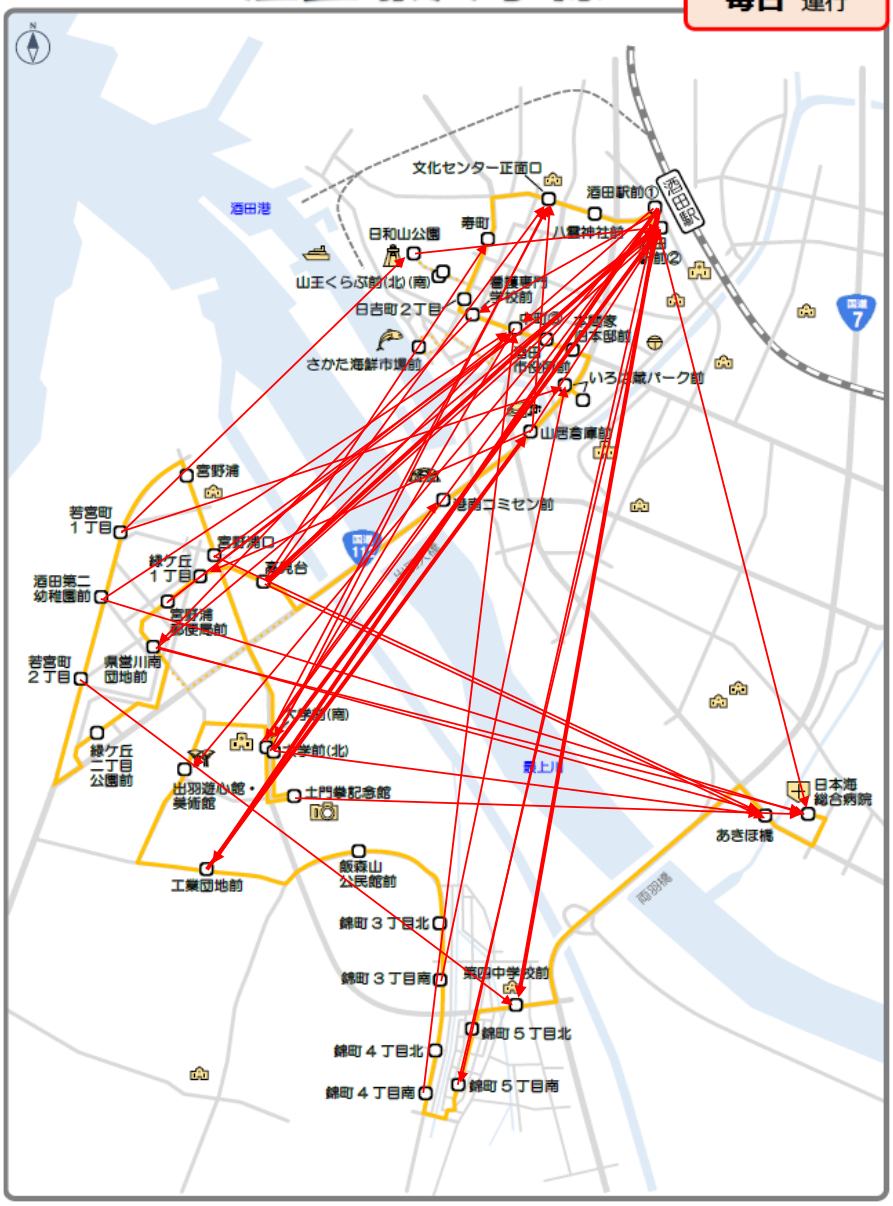
乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
富士見町２丁目	⇒	両羽町	1
明日葉前	⇒	泉コミセン前	1
北新橋	⇒	（記載なし）	1
計			3

➢ 検体数が少ないが、市内循環Ｃ線同様に酒田駅の東側から、線路を跨ぐ移動が見られる。

《変更》
令和７年４月

酒田駅大学線

るんるんバス
毎日 運行



1件
2件
3件

乗車したバス停を起点とし降車したバス停までを矢印で表した。
太い矢印は、同じ起点・終点の件数を示している。

- 酒田駅と、宮野浦地区、東北公益文科大学、工業団地の間の移動が多い。
- 日本海総合病院やあきほ橋へは、宮野浦方面からの移動が見られるが、錦町方面からの移動は見られない。

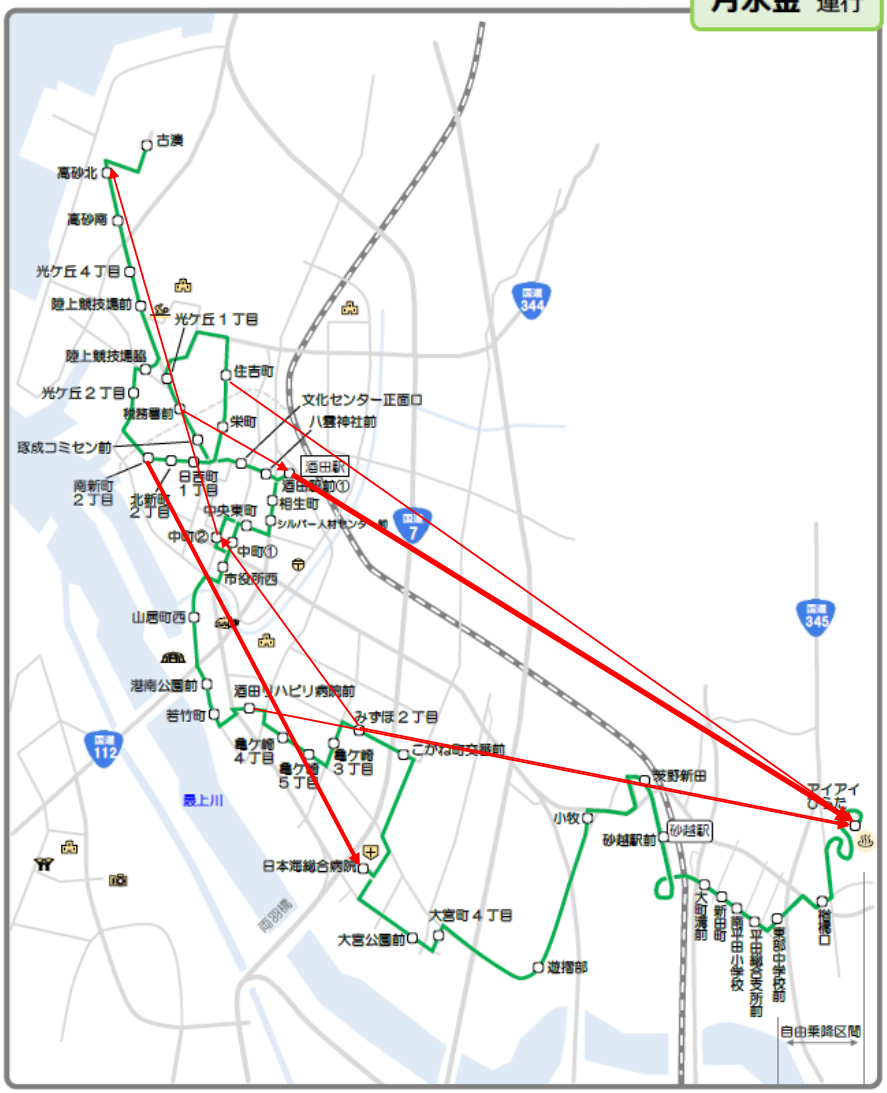
乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
看護専門学校前	⇒	県営川南団地前	1
宮野浦口	⇒	あきほ橋	1
宮野浦口	⇒	酒田駅前②	1
宮野浦郵便局前	⇒	酒田駅前②	1
宮野浦郵便局前	⇒	中町③	1
錦町３丁目南	⇒	いろは蔵パーク	1
錦町４丁目南	⇒	中町③	1
錦町５丁目南	⇒	酒田駅前②	1
県営川南団地前	⇒	あきほ橋	1
県営川南団地前	⇒	酒田駅前②	1
県営川南団地前	⇒	日本海総合病院	1
工業団地前	⇒	山居倉庫前	2
高見台	⇒	あきほ橋	1
高見台	⇒	酒田駅前②	3
高見台	⇒	寿町	1
高見台	⇒	中町③	1
高見台	⇒	文化センター正面口	1
山居倉庫前	⇒	酒田駅前②	1
山居倉庫前	⇒	文化センター正面口	1
山居倉庫前	⇒	緑ケ丘１丁目	1
若宮町１丁目	⇒	いろは蔵パーク前	1
若宮町１丁目	⇒	日和山公園	1
若宮町２丁目	⇒	第四中学校前	1

乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
酒田駅前①	⇒	看護専門学校前	1
酒田駅前①	⇒	錦町５丁目南	1
酒田駅前①	⇒	工業団地前	2
酒田駅前①	⇒	出羽遊心館・美術館	1
酒田駅前①	⇒	大学前（南側）	1
酒田駅前①	⇒	第四中学校前	2
酒田駅前①	⇒	中町③	1
酒田駅前①	⇒	日本海総合病院	1
酒田第二幼稚園前	⇒	中町③	1
酒田第二幼稚園前	⇒	日本海総合病院	1
大学前（南側）	⇒	港南コミセン前	1
大学前（南側）	⇒	文化センター正面口	1
大学前（北側）	⇒	あきほ橋	1
大学前（北側）	⇒	酒田駅前②	2
大学前（北側）	⇒	文化センター正面口	1
中町③	⇒	大学前（南側）	1
中町③	⇒	中町③	1
土門拳記念館	⇒	日本海総合病院	1
日和山公園	⇒	酒田駅前②	1
計			26

古湊アイアイひらた線

るんるんバス

月水金 運行



1件
2件
3件

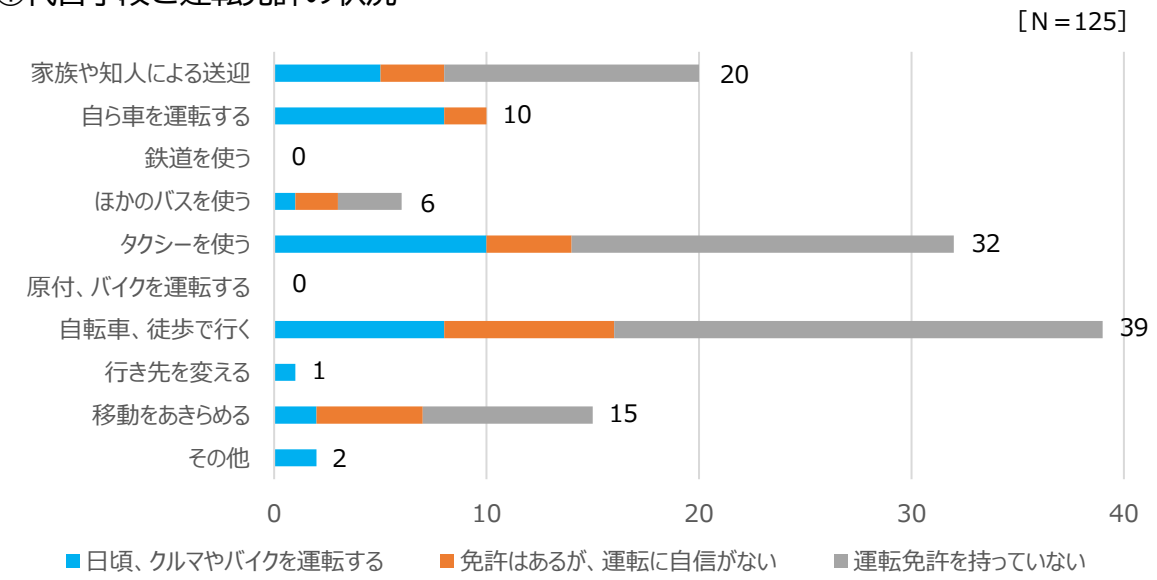
乗車したバス停を起点とし降車したバス停までを矢印で表した。
太い矢印は、同じ起点・終点の件数を示している。

乗車バス停	⇒	降車バス停	件数
みずほ２丁目	⇒	アイアイひらた	1
みずほ２丁目	⇒	中町②	1
酒田リハビリ病院前	⇒	アイアイひらた	1
酒田駅前①	⇒	アイアイひらた	3
住吉町	⇒	アイアイひらた	1
税務署前	⇒	酒田駅前①	1
中町②	⇒	高砂北	1
南新町２丁目	⇒	日本海総合病院	2
	計		11

- 光ケ丘方面や酒田駅からアイアイひらたへの移動が多い。
- 南新町方面から日本海総合病院への移動も見られる。
- 大宮地区から砂越・飛鳥の南平田地区の回答はなかった。

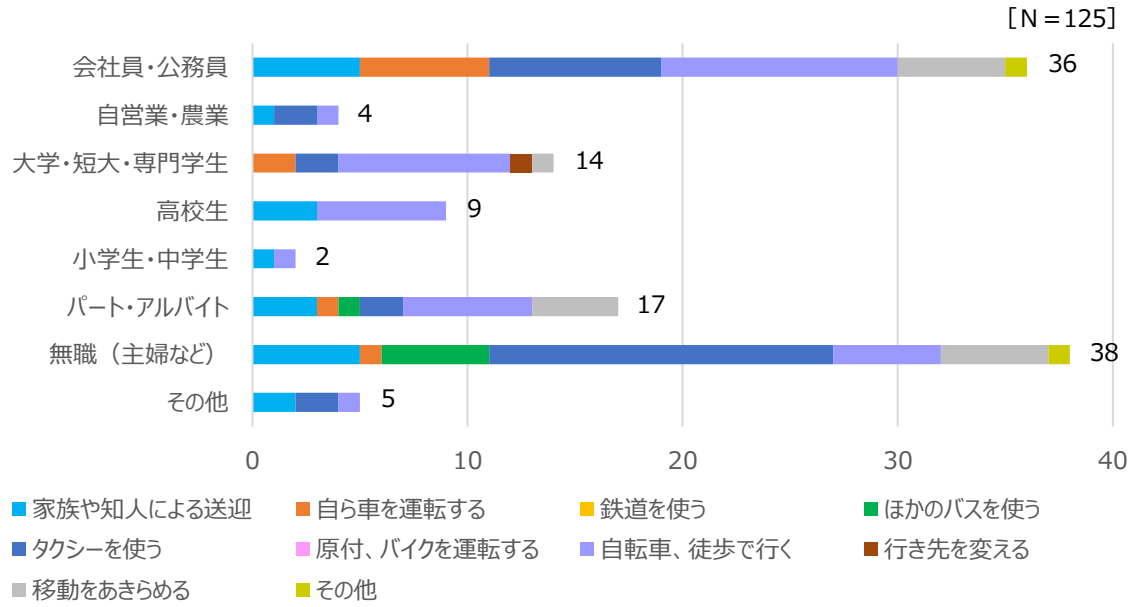
（12）るんるんバスが無かった場合の目的地への移動手段

①代替手段と運転免許の状況



➢　るんるんバスが無かった場合の代替手段は、多い方から「自転車、徒歩で行く」「タクシーを使う」「家族や知人による送迎」「移動をあきらめる」の順で、それぞれ約半数が「運転免許を持っていない」方である。

②職業・学校別の代替手段



➢　「会社員・公務員」ので多かったのは、「自転車、徒歩で行く」が 11 件、次いで「タクシーを使う」が 8 件であった。

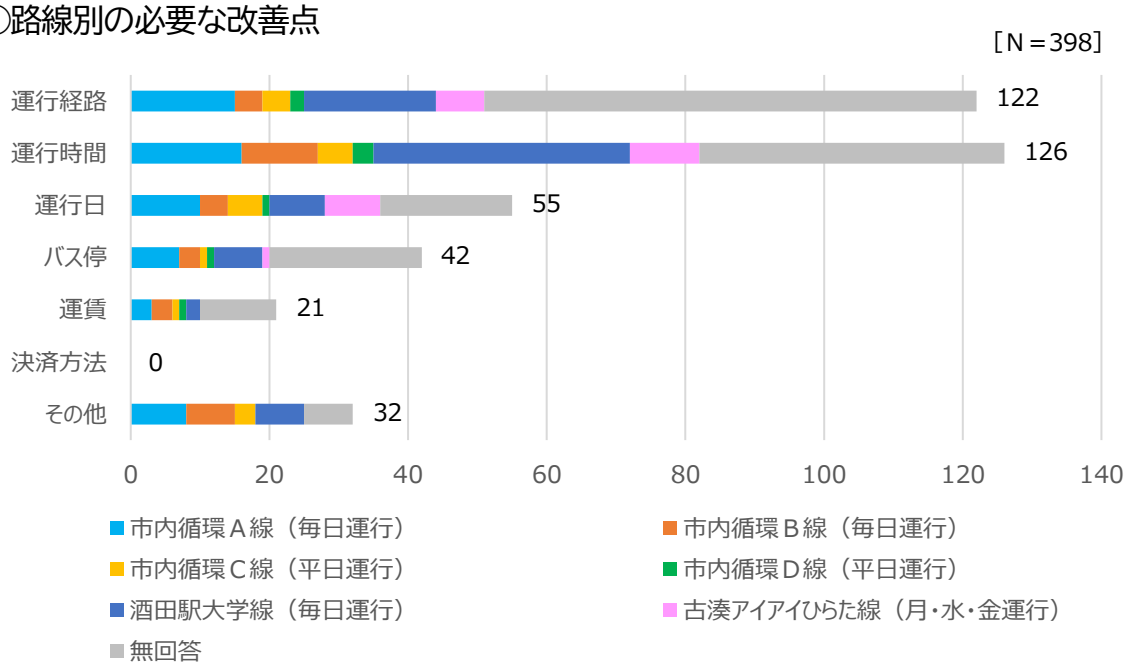
➢　「無職（主婦など）」の方で最も多かったのは、「タクシーを使う」の 16 件であった。

➢　「移動をあきらめる」と回答したのは、「会社員・公務員」「無職（主婦など）」「パート・アルバイト」などで一定数いた。

➢　「自転車、徒歩で行く」は、「大学・短大・専門学生」が 8 件、「高校生」が 6 件で、比較的体力がある世代は、自力で目的地に行く傾向にある。

（13）必要な改善点（複数回答可）　※回答件数 199 件（「特にない」14 件を除く）

①路線別の必要な改善点



- 路線の「無回答」には、利用頻度で「今は利用していない」と回答した 92 件を含んでいる。「無回答」の方で最も多かったのは「運行経路」の 71 件である。
- 「運行経路」と「運行時間」の件数が同じくらいで、他の項目と比較して群を抜いて多い。特に「酒田駅大学線」は回答数に比例し意見数が相対的に多く、中でも「運行時間」が 37 件と特に多い。
- 「運賃」は 21 件と比較的少ない。
- 「決済方法」は 0 件であったが、次項の自由回答で交通系 IC カードや電子マネー対応の要望が出ていることを踏まえると、「決済」という言葉に馴染みがなかったり、質問の意図が伝わりづらかった可能性がある。「支払方法」などと表記すれば一定程度の件数が集まったかもしれない。
- 「その他」の詳細については、次項の自由回答に誘導した。

②その他の具体的な内容を含む自由回答（記述式）

回答件数は 48 件で、株式会社 Liquitous（リキタス　※１）が開発した市民参加型合意形成プラットフォーム「Liqlid（リクリッド　※２）」を活用して、分類、集計を行いました。１件の回答に複数の意見や要望が記載されている場合は、それぞれのカテゴリーに振り分けられています。

※１　株式会社 Liquitous と酒田市は、「デジタル変革による対話を通した市民参加の推進に向けた連携に関する協定」を締結し、従来から行っている対面での意見交換（会議やワークショップ）や紙のアンケートなどで意見を集める手法に加えて、オンライン上に「市民と酒田市が一緒にまちづくりを考える場所」を作る実証実験を行っています。（令和７年 11 月現在）

※２　Liqlid は「じっくり話して、しっかり決める」というコンセプトで開発された、市民参加のためのウェブ上のプラットフォームです。

【自由回答の分類と件数】　（　細分類で、同様の意見が 10 件を超えたもの）

大分類	意見数	細分類	意見数
①バスの本数や運行時間、ダイヤに関する要望や不満	28	バスの運行本数を増やしてほしいという要望	6
		昼間や特定時間帯、土日祝の運行を求める声	8
		乗り継ぎや目的地到着に合わせたダイヤ調整の要望	11
		特定時間帯にバスがないことへの不満	3
②運賃や支払い方法、割引制度に関する意見	9	交通系 IC カードや電子マネー対応の要望	7
		100 円回数券など割引運賃の導入要望	2
③バス停や車両設備、案内表示などのハード面に関する意見	18	新設や既存バス停の維持・改善要望	3
		雨風雪よけ、ベンチ、足場などバス停設備の改善要望	5
		時刻表や案内表示、運行情報の分かりやすさ向上	2
		座席数や降車ボタン、車種統一など車内設備の要望	8
④運転手の接遇や運転マナーに関する意見	11	運転手の接遇に対する意見	5
		安全運転への要望	2
		高齢者や障害者への配慮・対応に関する要望	4
⑤混雑状況や利便性、利用しやすさに関する意見	7	混雑や座席確保の困難さへの不満	3
		高齢者や障害者が利用しやすい環境の要望	3
		乗車時に行先を告げる必要があることへの不満	1
⑥運行情報の提供やシステム面の改善要望	4	運行検索や時刻表の正確性への指摘	3
		スマホアプリや IT 化による利便性向上要望	1
⑦バス利用促進や啓発活動に関する提案	1	子ども向け乗車体験など利用促進イベントの提案	1
⑧上記に分類できない意見や特記事項	1	バス自体が不要という意見	1
計	78		78

【自由回答の総括】

（1）年代別の主な傾向

若年層（10 代・20 代）	
混雑への不満・不安	「ぎゅうぎゅう詰め」「つり革も掴めない」といった、通学時間帯の異常な混雑に対する安全面での不安が上がっている。
時間の正確性	バスが時間通りに来ないことへの不満が目立ち、車内モニターなどのデジタルな改善が求められている。
キャッシュレス導入	20 代からは「交通系 IC カードの導入」という、支払い方法の利便性向上を求める声が挙がっている。

中年層（30 代・40 代）	
デジタル化の追求	交通系 IC カードへの対応などキャッシュレス化への要望が最も強い世代で、「運行検索が実際の時間を反映していない」といった、情報提供の正確性にも厳しい目が向けられている。
空白時間の解消	「13 時～14 時台に動けない」といった、日中のダイヤの隙間に対する不便さが挙がっている。
まちづくりへの視点	「子ども向けの乗車体験イベント」など、次世代への教育やコミュニティ活性化の視点を持った提案が見られる。

壮年層（50 代・60 代）	
運転手の接遇に対する意見	運転手の接遇や運転マナーに対する具体的な意見が、他世代より多く寄せられている。
車両の改善	ワゴン車タイプ（C・D 線）への不評が目立ち、「降車ボタンがほしい」「乗降しづらい」「以前の方が便利だった」といった、車両変更による使い勝手の低下に関する指摘が見られる。
特定の便の運行に対する要望	酒田駅大学線の観光利用に関する提言、C・D 線の運行日や運行ルートに対する要望など。

高齢者層（70 代以上）	
バスを待つ環境の整備	「冬の雪かき」や「バス停のベンチ・囲い」など、バスを待つ環境の過酷さが生死に関わる問題として挙げられている。
生活の足	「土日にバスが動かないと不便」「通院の時間に合わない」など、バスが動かないことが外出機会の損失に繋がっている。
配慮への感謝と要望	譲り合いの精神や、障がい者への配慮など、車内マナーや運転手の気配りに敏感な世代である。

（2）年代を超えた共通課題と総括

多くの利用者が、現状のサービスを「不便」と感じながらも生活の足として頼っている状況が伺える。特に「混雑や空白時間の解消」、「C・D 線の土日運行や車両の改善」、「キャッシュレス化」は、世代を問わず挙がっている課題である。

付録　(13) るんるんバスの改善点　自由回答（有効回答のみ抜粋）

※　誤字や脱字、個人が特定されそうな記述などについては、趣旨が変わらない範囲で校正させていただきました。
　　また、るんるんバスに直接関連のない回答はあらかじめ掲載しておりません。

年 代	意　見
10 代	バスが時間よりも遅れてくる。
10 代	毎回２分以上遅れている事が多い。（できれば）バス車内にモニターを付けてほしい。
10 代	出来れば、朝は学生がごった返してぎゅうぎゅうになり、つり革、手すりなどのつかまる場所すら確保できなく、危ないのでバスの本数を可能であれば増やして欲しい。
10 代	バスの中の環境
20 代	交通系 IC の導入
20 代	交通系 IC カードを使えるようにしてほしい。
30 代	・るんるんバスの座席を多くして頂きたい。 ・"北新橋郵便局"前を土日祝日も運行して頂きたい。 ・市内循環Ｃ・Ｄ線に"酒田リハビリ病院前"をつけ足して頂きたい。 ・100 円の回数券を販売して頂きたい。 ・古湊アイアイひらた線を土日祝日も運行して頂きたい。 ・酒田リハビリ病院前というバス停を続けていただきたい。
30 代	IC 化
30 代	移動手段としてはもちろん重要ですが、バスを利用する楽しさ、メリットを子供の頃から知ってもらうために「子どもと乗車体験」のイベントなどをやっても面白いと思います。酒田のまちについてなりながら学べるいい機会でもあります。
40 代	るんるんバスの運行検索が実際の運行時間を反映していない。気が付いたのは 8/18。 【バスロケーションシステム】 https://subtour-z.com/sakata/
40 代	13 時から 14 時代に空白がある。
40 代	IC カード対応した運賃
40 代	学生の登校時間帯の異常な混み具合
40 代	Suica 等の交通系 IC カードも使える様にして欲しい。
40 代	そもそもバスは不要。
40 代	13 時から 14 時代に空白があって移動できない。
40 代	運転手の質
50 代	大学行は川南なので、港湾の日和山、海鮮市場に立ち寄るのはとりやめてほしい。いろは蔵パークに寄るのも、駐車の車を待つ時間が長く時間がかかりすぎる。デマンドタクシーで乗降場所と運行回数を増やす。
50 代	電子マネーを使えるようにお願いします。
50 代	「は 387」のバスを運転する人、態度が悪いし運転も荒いです。
50 代	大学生がすごく増えて、朝８時の大学線がぎゅうぎゅう詰めで一般の人が乗れなくなった。今年から大学生が増えると聞いた。大学生用にシャトルバスあればいいと思う。観光で 8 時の大学線に乗る人も結構いる。酒田駅前１番には○○線何時と時刻表だけある。観光の人は調べて来ると思うが、実際現地に行くと わからないものです。例えば、「山居倉庫や日和山公園は○○線です」とか、ぱっと見てわかるものがあると、嬉しいかと思う。
50 代	キャッシュレス対応
50 代	他の路線バスへの乗り継ぎの待ち時間が短くなるようなダイヤにして欲しい。今のダイヤは、非常に利用しづらい。
50 代	運転手

50 代	便数の増
60 代	中町への往来がとても時間がかかるので、タクシーを利用しています。以前はとても便利だったのですが。どうしても行かなければならない用事があるとき以外は行かなくなりました。不便なのでＣ・Ｄ線のバスは、足の具合が悪い人にはとても乗り心地が悪いようです。バスを利用するのは高齢者が多いので、Ａ・Ｂ線のバスのように、Ｃ・Ｄ線も変わったらと思います。 Ｃ・Ｄ線で行先を運転手さんに言ったのですが、ひとつ先のバス停で降車したことが数回あります。同乗していた人が初めてバスを利用の人で、帰りのバス停などを教えていた為です。行先を言っていたので安心して説明に没頭していた為です。Ａ・Ｂ線のように降車ボタンを自分で押せるように、Ｃ・Ｄ線もＡ・Ｂ線のように変わってほしいです。
60 代	通院時に利用していたのですが、バスからワゴン車？になって乗り降りが不便であり、乗車時に行先を告げなければならず嫌だった。またバスに戻ったら利用したいと思います。
60 代	バス停に木のベンチがあるが、雨などで少し腐っている。金属などのベンチだといい。冬はバス停の足場の雪どけがしていないので、朝に乗るとき、自分で踏みしめなくてはならず、車通りのキワになるので危ないと思う。
60 代	Ｃ・Ｄ線は土日祝が休み。動いてほしい。土日祝は家族に乗せてもらえればよいと、るんるんの上の考えでしたが、家族がいない人もいる。山容病院に毎日停まってほしい。酒田は利用者の事を考えていない。自分が免許あるから交通難民の気持ち全くわからない。全面的に見直しが必要。鶴岡で５倍に利用者を伸ばした。色々なルートを休みなくめぐる。なぜ酒田ではできないのか。だれかがまんするのではなく、皆うまくいくよう考えるのがプロだと思う。
60 代	・Ｃ線Ｄ線バス運行を平日だけでなく土日も運行してほしい。みずほ方面にも行ってもらいたい。 ・午後からの時間帯を増やしてもらいたい。
60 代	運転手の態度が悪い（言葉遣い）。
60 代	利用客に優しい運転をお願いいたします 。
60 代	運転手の接客態度
60 代	今後免許返納した場合、バスがどこを走行しているかスマホアプリで分かるようにしてほしい。
60 代	本数と運行日を増やしてもらいたい。
70 代	土、日、祭日を除いて毎日運行されていますが、利用しているＤ線は運行ありませんので、行事などは土・日が多いので、とっても不便になりました。
70 代	お昼の時間帯があると助かります。（12：00～13：00）
70 代	土門拳記念館から毎日運行できてうれしいです。私、弱視難聴障がい者です。気になるのはまず１件あります。よく乗る朝２番の市発大学前（南）ですが、土門拳記念館から歩いて乗せて頂いています。今みたいに猛暑が起きたり、土砂降り、大雨降ったりで、冬になれば吹雪いたり、特に信号機辺りに除雪の雪溜まりで歩けないので危険すぎます。その事で土門拳記念館から始発出来ないのかなと願っています。
70 代	先日７月 25 日（金）？午前９時過ぎ頃、ト一屋みずほ店バス停で杖をついた高齢者男性が手をあげ、声をあげてもドライバーは気づかないのか発車してたので、後方カメラや後方マイクなどかの対策か何らかのチェックを出来るように高齢者に優しい方法の検討をお願いしますか。
80 代以上	バス停に、雨・風・雪よけの囲いの様なものがほしい。夏にはひさしの様なものがあったらと思う。
80 代以上	高齢者のことを考慮して、これ以上不便なことない様にして下さい。高齢者であっても市民であることを平等において下さい。
80 代以上	ゆたか一丁目から北へ（docomo 付近）もう一つバス停を増やしてもらいたい！
80 代以上	大学線でみずほを通る時間あると良い。
80 代以上	・運行時間が通院の時間にあわない。 ・土曜日も運行してもらいたい。
80 代以上	高齢者には降車ボタン付きのマイクロバスが最適。車種を統一して欲しい。

80 代以上	・できれば１時間に１本のバスがあると助かる。 ・鶴岡市に行く事が多くて、帰り 13：30 頃着いてバスは 15 時過ぎになるので、駅前では時間をつぶすのはちょっと大変。 ・大学が始まると、時間によって混んでいる事があり、昨年は学生さんが席を譲ってくれましたが、今年度になってからは譲ってくれることがなくなってきた。学生さん達の学年によって違うのか？時々痛感する事がある。 ・時々アイアイに行くが、午前中の帰りのバスがない！ ・アイアイに行く時は、若宮→日本海病院着（8:13）が遅れてしまい、日本海病院発（8：17）→アイアイ行に乗れなかったことがあった。
80 代以上	100 円の回数券があればいいなと思います

市営乗合バス（るんるんバス）の利用に関するアンケート調査

■ あなた自身のことについてお答えください。（１つに○、下線部分に記述）

年代	1．10 代　2．20 代　3．30 代　4．40 代 5．50 代　6．60 代　7．70 代　8．80 代以上
職業・学校	1．会社員、公務員　2．自営業、農業　3．パート、アルバイト 4．大学、短大、専門学生　5．高校生　6．中学生、小学生 7．無職　8．その他［　　］
お住まい	・ 酒田市 ..... （町丁目、字名までで可） ・ 酒田市外
運転免許について	1．日頃、クルマやバイクを運転する　2．免許はあるが、運転に自信がない 3．運転免許を持っていない（返納済みを含む）
バスの利用頻度	1．毎週のように利用している　2．月に 1～2 回くらい利用する　3．雨や雪の日などに利用する 4．年に数回、ときどき利用する　5．本日初めて利用した　6．今は利用していない ⇒ **6.を回答された方は、裏面の問７へお進みください。なお、高校生の方のみ、次の質問も回答ください。**

■**【高校生の方のみ】** 普段の主な通学手段について伺います。（１つに○、その他の場合はカッコに記述）

晴天・曇天時	1．徒歩または自転車のみ　2．鉄道を利用している 3．クルマでの送迎が多い　4．バスやデマンドタクシーを使うことが多い 5．その他［　　］
荒天時・夜間	1．徒歩または自転車のみ　2．鉄道を利用している 3．クルマでの送迎が多い　4．バスやデマンドタクシーを使うことが多い 5．その他［　　］

■ るんるんバスの利用状況について伺います。普段あまり利用しない方は、直近で利用されたケースについてご回答ください。

【問 1】目的地に行くまで、最も利用することが多い路線はどれですか。あるいは本日乗車された路線はどれですか。（１つに○）

1．A 線　2．B 線　3．C 線　4．D 線　5．大学線　6．古湊アイアイひらた線

【問２】主な利用目的について伺います。（該当する番号に○、複数回答可）

1．通勤　2．通学　3．買物　4．通院　5．娯楽、趣味、文化活動等 6．出張　7．観光　8．習い事・学習　9．食事・社交　10．官公庁への手続き等 11．その他［　　］
［目的地］差し支えなければ、施設名などをご回答ください

【問３】問２の利用目的において、同行者がいらっしゃる場合は、人数を教えてください。

あなたの他に ..... 人　（うち未就学児 ..... 人）

【問４】よく利用する（あるいは本日利用された）曜日の番号に○（複数回答可）を付け、乗車時の時間帯を、下線部に記述してください。

１．月曜日	２．火曜日	３．水曜日	４．木曜日	５．金曜日	６．土曜日	７．日曜日
乗車時の時間帯：だいたい ..... 時頃						

【問５】よく利用する（あるいは本日利用された）バス停はどちらですか。乗車と降車それぞれについて記載してください。

乗車バス停	
降車バス停（または乗り継ぎバス停）	
乗り継ぎ後の降車バス停	

【問６】 もし、るんるんバスが無かったら、目的地にはどのように移動しますか。（１つに○）

１．家族や知人による送迎	２．自ら車を運転する	３．鉄道を使う	４．ほかのバスを使う
５．タクシーを使う	６．原付、バイクを運転する	７．自転車、徒歩で行く	８．行き先を変える
９．移動をあきらめる	10．その他［		］

【問７】 るんるんバスをより良くするためには、どのような改善が必要だとお考えですか。
（該当する番号に○、複数回答可、具体的な改善内容がございましたら自由回答欄に記述ください）

１．運行経路	２．運行時間	３．運行日	４．バス停	５．運賃	６．決済方法	７．その他
［自由回答］普段感じている困りごとや、不便だと思うこと、具体的な改善要望がございましたら記載してください。						

■ アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。

■ この用紙は、るんるんバス車内の回収箱に入れるか、市役所（都市デザイン課）、文化センター、ミライニ、各総合支所へ提出してください。

［お問合せ］酒田市 都市デザイン課 地域公共交通係
電話： 0234-26-5756
メール： kotu@city.sakata.lg.jp